

季節による概日リズムの変化と心原性院外心肺停止発症および予後との関連

京都府立医科大学附属病院（以下、当大学）では、日本循環器学会蘇生科学検討会JCS-Ress グループが実施している「日本の院外心肺停止の現状把握および問題点の抽出、心肺蘇生法の普及、蘇生科学の発展」を目的としたウツインデータを用いて院外心肺停止症例の実態調査を実施しています。この研究は実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

季節により変動する概日リズムと心原性院外心肺停止発症との関連を明らかにすることを目的としています。季節により変動する概日リズムが急性心筋梗塞発症に関与することを我々は過去に報告していますが、心原性院外心肺停止発症にも関与するかは不明であり、それを明らかにすることは心原性心肺停止の仕組みの解明や救急医療体制の向上に役立つと考えられます。さらに、心拍再開患者の1か月後予後予測モデルを作成することができれば患者主体医療の質向上に貢献できると考えられます。

研究の方法

・対象となる方について

2005年から2019年までのウツインデータに登録された18歳以上の院外心肺停止の患者さん全員からデータ収集を行い、心原性院外心肺停止症例のうち心拍再開症例を選定します。

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2024年12月31日

・方法

ウツインデータを用いて、心原性院外心肺停止発症と季節により変動する概日リズムの関連性を分析し、心原性心肺停止の起こる仕組みや救急医療体制の改善すべき点について調べます。

・研究に用いる試料・情報について

情報： 1か月後生存予後、脳神経機能予後、発症年月日、時刻、性別、年齢など

・個人情報の取り扱いについて

氏名、生年月日、住所などの個人を特定する情報はすべて日本循環器学会蘇生科学検討会が定めるデータ運用管理規定に従い、外部と隔離された情報端末によって厳重に管理します。なお本研究の成果を学会や学術雑誌等で公表する場合や特許などを申請する場合には、個人が特定できないような形で情報を使用します。いかなる状況においても患者さんの情報が漏洩しないようプライバシーの保護に細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

日本循環器学会蘇生科学検討会が定めるデータ運用管理規定に従い、研究目的が完了したときには複製されたデータの全てを消去いたします。研究の申請書類ならびに蘇生科学検討会に報告した成果物等については、日本循環器学会蘇生科学検討会JCS-ReSS事務局において最低5年間保存されるものとします。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学附属病院・所属：循環器・腎臓内科 的場 聖明

研究代表者

京都府立医科大学附属病院・所属：循環器・腎臓内科 西 真宏

お問い合わせ先

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者

京都府立医科大学附属病院 循環器・腎臓内科

西 真宏 TEL：075-251-5111